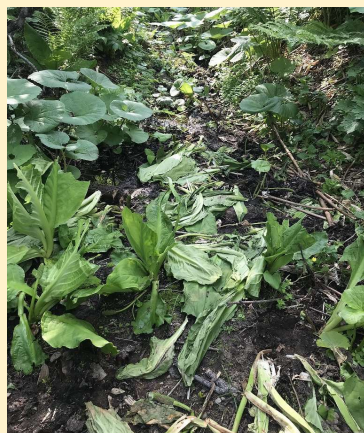


コース全体でヒグマが暮らしています。

水芭蕉群落にはヒグマの食痕や足跡

コース内に多々ある水芭蕉群落において、日々ヒグマによる食痕が見られています。鴨沼付近や湯の沼付近など、場所は様々。センターからヤンベ分岐までの間にも多くのミズバショウ群落があり、よい食事場所となっているようです。

食事中にばったりと出会わないように、登山道では常に音と出し、周りを良く確認しながら歩きましょう。



▲ ヒグマが水芭蕉を食べた痕。根を掘り起こして食べています。



▲ 定点のセンサーカメラに映った水芭蕉の根を掘るヒグマ



▲ 湯の沼付近で登山道上についていたヒグマの足跡



7/26

鴨沼で食事中のヒグマと遭遇！

センター員が巡視中、鴨沼にて食事中のヒグマに遭遇。こちらの存在を気にしながらも食事を続け、20分ほど後、上部に去って行きました。この日は、上部にヒグマがいないことを確認するまで、一時鴨沼から先は通行止めとしました。

7/25

ヤンベ沢手前の水芭蕉群落で、去っていくヒグマを登山者が目撃！

センターから30分ほど歩いた場所、ヤンベタツ沢手前の水芭蕉群落で、登山者がヒグマと遭遇。その距離は約20mほどだったとのこと。

ヒグマが登山者に気づき、去っていくところだったようです。



続く猛暑にヒグマもタジタジ、、、

連日暑さが続く北海道。ヒグマ情報センター付近の最高気温も30度を超える日が多々あります。センター員も夏バテしそうですが、ヒグマも少々つらい様子。雪渓で腹ばいになり、体を冷やす様子がよく見られます。

エゾ沼手前に携帯トイレブースを設置しました！



今期もコース内に携帯トイレブースを設置しました。場所はエゾ沼の少し手前。携帯トイレはヒグマ情報センターで販売しています（500円）。また、ブース内にも携帯トイレを置いてありますので、急遽必要になった際はご利用いただき、下山時にヒグマ情報センターにてお支払いください。

雪解けが落ち着き、エゾ沼の水位も下がりました。

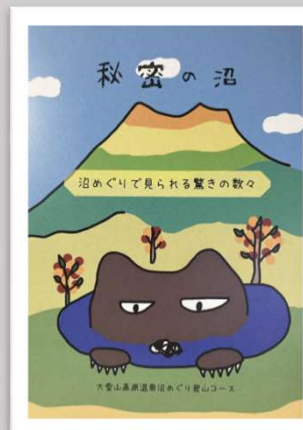


コース内の雪も大半が解け、一部を残すのみ。先週まで水没していたエゾ沼の水位も下がり、登山靴やトレッキングシューズでも問題なく歩けるようになりました。と同時に、エゾ沼にはエゾサンショウウオの姿がたくさん見られるようになってきました。覗いてみてね！

エゾサンショウウオ

ガイドブック日本語版が完成しました！！

沼めぐりコースのオリジナルガイドブックが完成しました！沼めぐりコースの魅力がたっぷりつまった一冊です。ヒグマ情報センターにてご購入いただけます。（1000円）読んでみて、コースの新たな魅力を発見してみてください！英語版も同時販売中！！



今年も登山道補修の為に木材荷上げが始まりました！

コース内整備のための木材運搬が今年も始まりました。暑くて歩くだけでばててしまいそうな中、荷上げのボランティアに来てくれた方々、本当にありがとうございました！運んでもらった木材は、今後木道づくりなどに使用予定です。荷上げは予約不要、いつでも大歓迎です！



高原温泉沼めぐり 登山コースの様子 いよいよ夏山シーズン！



大学沼



高原沼

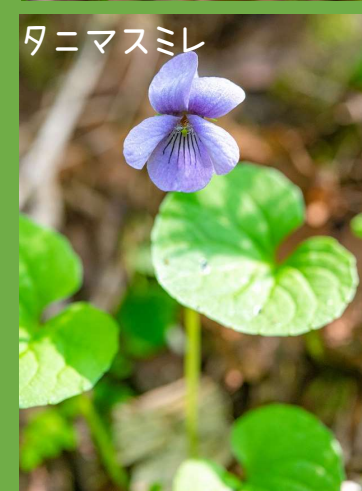
7月の沼巡りコースの”芽吹き”



エゾイチゲ



ゴゼンタチバナ



タニマスミレ



チングルマとハナアブ

7月26日

50mの距離でセンター員がヒグマと遭遇



エゾ沼



沼めぐり登山コース

三笠新道は閉鎖しています

7月25日水芭蕉帯にて、

20mの距離で登山者がヒグマと遭遇



サンベタップ沢

コースの規制

・右コース付近でのヒグマの出没、痕跡が多い為、引き続き高原沼（高原ピーク）往復としています。
ヒグマの状況によってコース解放状況は変化しますので、センター受付でご確認ください。

コース利用時の注意

多かった雪もようやく登山道からなくなりつつあるこの季節、登山道は歩きやすくなったものの、雪解け水による水量増加で、川沿いは少々熊鈴が聞こえにくい状況にあります。また、植物の生長も早く、水芭蕉の群生する場所ではヒグマもすっぽりと覆ってしまうほど。

ヒグマにばったりと出会わないよう、コース内では鈴の音をしっかり鳴らし、周りの様子を確認しながらあるきましょう。

大雪山国立公園高原温泉

沼めぐり登山コース

第4号（7月30日）

発行：ヒグマ情報センター



緑沼